

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月1日

上場会社名 株式会社 ミスターマックス
 コード番号 8203 URL <http://www.mrmax.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財経本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 福

(氏名) 平野 能章

(氏名) 中野 英一

TEL 092-623-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	79,003	—	919	—	1,088	—	760	—
21年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	22.76	—
21年3月期第3四半期	—	—

(注) 当第3四半期より非連結で開示しております。このため、前第3四半期累計期間との比較は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	77,639	21,839	28.1	653.78
21年3月期	69,652	21,407	30.7	640.81

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 21,839百万円 21年3月期 21,407百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	104,000	7.8	920	35.0	1,120	30.0	770	—	23.05

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等] 4. その他 を参照ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	39,611,134株	21年3月期	39,611,134株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	6,205,466株	21年3月期	6,203,528株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	33,406,479株	21年3月期第3四半期	34,821,064株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後、個人消費や気象条件など様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間においても、特に購買頻度の高い消耗品について、年間を通じて安定した低価格でご提供できるよう取り組みを強化するとともに、「医薬品」や「日配食品」など新品种の導入にも積極的に取り組んでまいりました。

「医薬品」の取り扱い店舗は9店舗に拡大し、また、「パン」の取り扱い店舗を全44店舗中35店舗に拡大しました。

お客様のニーズに合わせた店舗業態の多様化にも取り組み、11月26日には岡山市内に、従来のディスカウントストアの品揃えに生鮮食品や惣菜・ベーカリーなどを加えた、スーパーセンター1号店を開業する一方、12月18日には福岡県篠栗町に日配・冷凍食品や医薬品など日常生活の中でより高頻度で消費される商品に品揃えを絞りこんだ小型店舗「Select」の2号店を開店いたしました。

このような取り組みの結果、商品別の売上高では、酒類の売上高が前年同期比10億6百万円(55.6%)、パンなど日配食品の売上高が前年同期比4億24百万円(341.2%)増加した他、菓子、調味料、麺類・カレーなどの加工食品、飲料など食品の販売が好調でした。特に「産地と銘柄にこだわった、おいしいお米を、お求めやすい価格で食卓に届けたい」という思いで開発したプライベートブランドの米や雑穀米の販売が好調で、プライベートブランド以外の商品を含めた米の売上高は前年同期比3億50百万円(27.2%)増加しました。その結果、食品の総売上高は、前年同期比28億10百万円(21.8%)増加し、客数と売上高の増加に大きく貢献しました。

また、インフルエンザ対策用にマスクの売上高が前年同期比2億70百万円(887.6%)増加した他、取扱店舗を拡大した医薬品や衣料用洗剤・柔軟剤、化粧品などの販売が好調だったHBC(ヘルス・アンド・ビューティー・ケア)関連の売上高も前年同期比15億11百万円(12.4%)と大きく増加しました。家電製品では、9月17日から「エコポイント対象19インチ地デジ液晶テレビ」を税込29,780円で発売するなど、プライベートブランドの液晶テレビの売上高が前年同期比6億80百万円(413.8%)増加したことにより、プライベートブランド以外の商品を含めた液晶テレビの売上高は前年同期比9億3百万円(64.1%)増加しました。ブルーレイディスクレコーダーなどAV家電の他、洗濯機など家事用家電、ガステーブルなど台所用家電も売上高を増加させました。

当第3四半期累計期間の経営成績は、既存店客数が前年同期比6.1%、既存店売上高が前年同期比5.5%増加したことにより、売上高は757億59百万円となり、不動産賃貸収入32億44百万円を加えた営業収益は790億3百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は173億76百万円となり、その結果、営業利益は9億19百万円、経常利益は10億88百万円となりました。また、当第3四半期累計期間における四半期純利益は7億60百万円となりました。

なお、前第3四半期累計期間においては四半期連結財務諸表を作成、開示してまいりましたが、当第3四半期会計期間において連結子会社を吸収合併したことにより連結対象会社が無くなりました。このため、当第3四半期累計期間は四半期財務諸表を作成し、前第3四半期累計期間との比較は行なっておりません。前第3四半期累計期間の損益計算書を参考情報として当四半期財務諸表の後に記載いたしますので、ご参照下さい。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・資本の状況

(総資産)

当第3四半期末における総資産は、商品在庫の増加28億42百万円、現金及び預金の増加21億4百万円や売掛金の増加16億29百万円などにより、前事業年度末に比べ79億88百万円増加して、776億39百万円となりました。

(負債)

負債については、買掛金の増加49億86百万円や支払手形の増加9億9百万円などにより、前事業年度末に比べ75億56百万円増加して557億99百万円となりました。

(純資産)

純資産につきましては、利益剰余金が4億26百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ4億32百万円増加して218億39百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前四半期純利益は11億35百万円、減価償却費は11億85百万円となりました。仕入債務が58億64百万円増加した一方で、たな卸資産が28億6百万円、売上債権が16億52百万円増加し、法人税等の支払いが4億94百万円あったことなどにより、営業活動により得られた資金は、32億37百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

出店予約金の支出8億88百万円や有形固定資産の取得6億39百万円などにより、投資活動に使用した資金は、15億98百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、長期借入金の増加8億50百万円に対し、配当金の支払い3億31百万円などの支出を行なったことにより5億10百万円となりました。

これらの結果、当第3四半期末における現金および現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ21億46百万円増加し、42億31百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期において連結子会社を吸収合併したことにより連結対象会社が無くなりました。このため、平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月15日発表時の連結業績予想に変え、非連結の業績予想を本日平成22年2月1日「個別業績予想に関するお知らせ」として開示させて頂きました。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①棚卸資産の評価方法

第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目等を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前事業年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,185	2,081
売掛金	2,559	930
有価証券	46	59
商品	10,267	7,425
貯蔵品	63	60
その他	1,496	1,298
流動資産合計	18,619	11,856
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	14,715	15,063
土地	27,367	27,367
その他(純額)	2,696	1,708
有形固定資産合計	44,779	44,139
無形固定資産	400	339
投資その他の資産		
その他	13,845	13,321
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	13,840	13,316
固定資産合計	59,020	57,795
資産合計	77,639	69,652

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,752	12,858
1年内返済予定の長期借入金	7,750	7,575
未払法人税等	255	329
引当金	582	736
その他	3,917	3,570
流動負債合計	31,258	25,069
固定負債		
長期借入金	15,500	14,825
引当金	465	447
その他	8,575	7,902
固定負債合計	24,541	23,174
負債合計	55,799	48,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,229	10,229
資本剰余金	9,951	9,951
利益剰余金	4,295	3,869
自己株式	△2,541	△2,540
株主資本合計	21,934	21,508
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△99	△103
繰延ヘッジ損益	5	2
評価・換算差額等合計	△94	△101
純資産合計	21,839	21,407
負債純資産合計	77,639	69,652

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	75,759
売上原価	60,708
売上総利益	15,051
不動産賃貸収入	3,244
営業総利益	18,295
販売費及び一般管理費	
販売費	3,706
一般管理費	13,670
販売費及び一般管理費合計	17,376
営業利益	919
営業外収益	
受取利息	74
受取手数料	155
仕入割引	158
その他	61
営業外収益合計	450
営業外費用	
支払利息	243
その他	37
営業外費用合計	280
経常利益	1,088
特別利益	
投資有価証券売却益	13
関係会社株式売却益	16
補助金収入	69
テナント解約収入	10
特別利益合計	110
特別損失	
固定資産除却損	16
投資有価証券売却損	2
投資有価証券評価損	25
関係会社株式評価損	19
特別損失合計	63
税引前四半期純利益	1,135
法人税、住民税及び事業税	416
法人税等調整額	△41
法人税等合計	374
四半期純利益	760

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,135
減価償却費	1,185
引当金の増減額(△は減少)	△135
受取利息及び受取配当金	△82
支払利息	243
投資有価証券売却損益(△は益)	△10
投資有価証券評価損益(△は益)	25
関係会社株式売却損益(△は益)	△16
関係会社株式評価損	19
有形固定資産除却損	16
補助金収入	△69
テナント解約収入	△10
売上債権の増減額(△は増加)	△1,652
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,806
仕入債務の増減額(△は減少)	5,864
その他	225
小計	3,930
利息及び配当金の受取額	16
利息の支払額	△214
法人税等の支払額	△494
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,237
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△639
無形固定資産の取得による支出	△99
投資有価証券の取得による支出	△147
投資有価証券の売却による収入	90
定期預金の払戻による収入	52
その他	△854
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,598
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	7,000
長期借入金の返済による支出	△6,150
配当金の支払額	△331
その他	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	510
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,146
現金及び現金同等物の期首残高	2,084
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,231

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

「参考」

前四半期に係る四半期損益計算書

		(単位：百万円)
		前第3四半期累計期間
		(自 平成20年4月1日
		至 平成20年12月31日)
売上高		70,560
売上原価		55,780
売上総利益		14,779
不動産賃貸収入		3,289
営業総利益		18,069
販売費及び一般管理費		
販売費		3,638
一般管理費		13,782
販売費及び一般管理費合計		17,420
営業利益		649
営業外収益		
受取利息		72
受取手数料		148
仕入割引		146
その他		76
営業外収益合計		443
営業外費用		
支払利息		258
その他		77
営業外費用合計		336
経常利益		756
特別利益		
受取補償金		33
テナント解約収入		31
その他		0
特別利益合計		66
特別損失		
固定資産売却損		6
固定資産除却損		15
たな卸資産評価損		1,026
その他		73
特別損失合計		1,122
税引前四半期純損失(△)		△ 300
法人税等		65
四半期純損失(△)		△ 365

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成していますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。